

「がん進展制御研究所セミナー」を開催

2015年8月19日

8月19日（水）に、がん進展制御研究所4階会議室において、今年度8月から本研究所の招聘型リサーチプロフェッサーに就任した武藤誠先生によるがん進展制御研究所セミナーを「Cancer Genomics for therapy :Achievements and Challenges」というタイトルで開催しました。

セミナーでは、がん研究のこれまでの潮流について解説があり、これを踏まえて、これからのがん研究の方向性についてお話し頂きました。とくに、がん患者由来の組織を免疫不全マウスに移植する、PDXモデルを用いた治療感受性試験の重要性と展望についてご講演頂き、今後のがん研究を再考する機会となりました。

また、セミナーには、研究所内外の教職員、大学院生等約50名が参加し、活発な質疑応答や意見交換が行われました。



Cancer Genomics for therapy : Achievements and Challenges

講演者

がん進展制御研究所・実験治療学分野
リサーチプロフェッサー
武藤 誠 先生

日時:平成27年8月19日(水) 16:30～18:00

場所:金沢大学がん進展制御研究所 4F 会議室

今年から本研究所のリサーチプロフェッサーに就任した武藤先生(京都大学国際高等教育院 教授)に、本研究所で推進するプロジェクトの展望を含めてセミナーをお願いしました。以下、セミナー内容です。

ヒトゲノム計画の達成からがんゲノム計画へと比重が移り、これに治療薬の感受性データを重ね合わせて個々の患者の感受性を予測する試みが進行している。培養細胞の結果をデータベース化を進めてこれを達成する戦略と、患者材料をデータベース化する過程で直接患者に還元しようとする戦略が進行している。これらを紹介して今後の方針を討論したい。

連絡先:大島(がん進展制御研究所・腫瘍遺伝学研究分野 内線6760)